

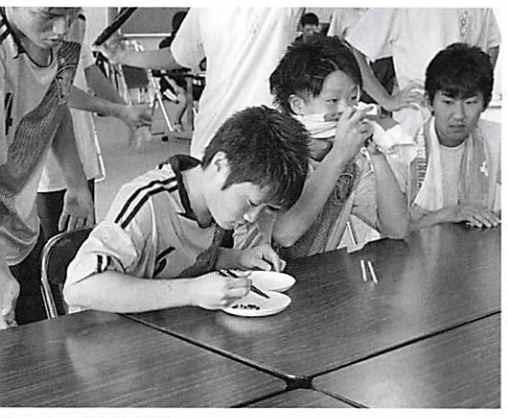
学 園 通 信



No. 253

九里学園高等学校 P T A

2013. 3. 1 発行



卒業おめでとう!



失敗させるのも親の愛

学校長 九里 廣志

「子供たちにやらせてください。それが子供たちのためになるのですから。」入学手続きの時から言ってきた言葉です。今年卒業する学年の保護者の方々にも、何度となくこの言葉を投げかけてきました。でも、これがなかなかできないものなのです。

学年行事をするたびに、多くの保護者の方々が積極的に協力してくださる学年でした。子供たちに何をさせようかと考える時も、ユニークな企画を提案なさる発想豊かな方も多く、「納豆巻きでギネスに挑戦」した企画などはなかなかの物でした。どうすれば長い海苔巻きをつなげて作れるかなど事前に試作して、サラシラップで巻く事を考えたりするに至っては、この方々だからできることと舌を巻いたものです。協力も惜しまない方々がたくさん参加してくださって、その器用さで生徒の仕事を取り上げてしまうことも……。ついつい生徒よりも保護者の方が楽しんでいて、生徒の出番が少なすぎると私は感じたのでした。私はそのような保護者の動きに対して、キツイ言葉で叱責した事がありました。「子供が失敗してそこから得るものを、親が手を出して横取りし、与えていない！親は手出しを控えなさい！」…と。

蒔田晋治さんが作った『教室はまちがうところだ』という詩があります。よく小中学校などで取り上げて、子供たちの中にも知っている者が多いのではと思っています。簡単に言えば「違い

を恐れず、失敗しても、回り道してもいいから、本当のことを知るために、一生懸命考えなさい。友達の失敗を笑わず、自分の失敗を恐れず、お互いから学んで、本当に必要で大切な知識や知恵をしつかり身につけなさい。」そんな内容の詩です。残念ながら、今の子供たちは便利になった、また忙しくなったこの世の中で、試行錯誤するチャンスを奪われてしまい、簡単に、早く結論を出すことを強いられています。実生活で、回り道をして道草をくう楽しさ、失敗を繰り返しながら成功の方法を稚拙でも工夫する楽しさを奪われただけでなく、無駄や失敗することなどはあつてはいけないことと信じさせられているようです。でも無駄があつていい、まちがつてもいいということ、もう一度子供たちに伝えてあげませんか？

三年生の保護者役員の方々などは、だんだん親としての愛情のかけかたがわかってきて、上手に子供たちを動かすコツを体得してきてくださったようです。社会で生きていく子供たちが、この親たちから受けた愛情を肥しにして、たくましく、創造性豊かな人生を歩んでいってくれる事を期待しています。

三年生のみなさんご卒業おめでとう。そして三年生の保護者のみなさん、ご協力ありがとうございました。



ご卒業おめでとう



「今日一日を精一杯!」

PTA会長 金子 和幸

卒業生に望むこと

第三学年部長 高梨 進

チャレンジ

第二学年部長 片倉 登

「夢」は、必ず実現します

第一学年部長 船山 幸二

三年生の皆さんご卒業おめでとう
ございます。

朝の通勤途中、いつも聴いている
ラジオ番組「鈴木杏樹のいつてらっ
しゃい」から、エッセイストの中山
庸子さんの

「誰だって 今日一日くらいなら
がんばれるでしょう」

明日以降のことは その日が今日に
なったら 考えればいいのです」
という言葉が聴こえてきました。

もちろん計画を立てて、着実にそ
れを実行していくことが成功への近
道ではあると思いますが、なかなか
計画通りにはいかないものです。う
まくいかない時、疲れている時、先々
のことまでを考えてしまい、苦しく
辛くなったり、余計に自分を追い込
んでしまったりします。そんな時、
まずは今日一日を精一杯生きる。そ
の一日一日の先に目指す目標や夢が
待っているのではないのでしょうか。

九里学園で学び、身につけた力を
信じ、「前へ」一歩ずつ向かってほし
いと思います。

卒業生のみなさん、御卒業おめで
とうございます。あれもしたい、こ
れもしたいと希望に胸をふくらませ
ていることでしょう。

社会に出たら色々な困難がみんな
を待っている。その困難の前に不安
で泣きたくなる人もいるだろうし、
逃げたくなる人もいると思う。泣い
てもいいから逃げずに九里学園で学
んだことを生かしその困難を乗り越
えて欲しい。また、結果のみを気に
したり、外見だけを気にするような
ちっぽけな生き方をして欲しくはあ
りません。自らの内面を鍛え、芯の
通ったたくましい自分をつくって欲
しいと思う。常に他人を大切にす
る心を持ち続けて欲しいと願ってい
ます。そうすれば「世の中の苦しみや
悲しみに耐えて、人の苦しみを心か
ら理解でき自分と人に優しく温かい
人間になれるはず」です。九里学園
高校の卒業生として世の人のため
なる立派な人になっていただきたい。

卒業生の皆様、保護者の皆様、ご卒業誠に
とうございます。九里学園高等学校で過ごした三年
間、学校行事や部活動での色々な思い出がたくさん
あったことでしょう。そして、色々な経験をされた
ことでしょう。

大学や専門学校そして短期大学へ進学される生徒
の皆さん、又、就職して社会人一年生となる生徒の皆
さん、いずれの道に進んでも、今まで経験したこと
の無いことが必ずおとされるでしょう。その時、皆さん
が、どう考え、どう判断するかは、自分で決断しな
ければなりません。皆さんに期待したいのは、決し
て後向きではなく、前向きにチャレンジしてほしい
と思います。チャレンジできるのは若いからでしょ
う。しかし、失敗した経験を生かすこともあるでしょ
う。それは、失敗した経験を生かすこともあって、成長
進歩はありません。失敗をいやがらず、どんな何
事にもチャレンジして下さい。きっと素晴らしい未
来が待っていることでしょう。

それから、今までもそうだったことでしょうか、大
人と認められる為に、次のことが大切であります。
一つ目は、約束・時間を守る。二つ目は、自分を大事
にする。三つ目は、人に優しく、感謝する心を持つ
ことです。一つ目は、自分の信用にかかわることです。
二つ目は、皆さんは一人ではありません。友人がいて
家族がいます。三つ目は、一人では生きられません。
知らずに誰かに助けられていることがあるはずで
す。この三つを卒業生の皆様へのメッセージとして送ら
させて頂きます。三年間で学んだ「礼と讓」の精神
を忘れず、明るい希望を持って、たくさんの夢を叶え
て下さい。チャレンジ精神を持って数年後には立派な
社会人となって頑張っている姿を期待しております。

九里学園を卒業し、夢の実現に向
けて旅立つ皆さん、心からのお祝い
と、激励の言葉を申し上げます。そ
して、二年間後輩たちに対する熱心
なご指導に感謝申し上げます。

あまり知られていないことですが、
十八歳までは、「児童」と言われ「保
護者・大人」の保護と管理下に置か
れています。皆さんは高校卒業後、
いよいよ「大人」の世界に入って行
くこととなります。その分、「自由」
が増え、楽しい体験ができる事とし
ょう。でも、責任と義務が「半端無く」
襲ってきます。高校時代に大目に見
てくれた事も簡単に許してくれない
場面に出会うでしょう。

「今のそのままの自分」を素直に
啓けること。賢いふりしても、長続
きしません。そうすれば、「自分に無
いものを求め努力する貴方」に多く
の応援者があらわれることでしょう。
「夢」は、必ず実現します。

卒業おめでとう

～ はばたく君たちへ ～

譲の心を忘れずに！

第三学年主任 高木 ユキエ



九里学園に勤めて、最初の方に生徒に訴えたのは、「自分を大切に」でした。でも、大

人しく控えめな本校生徒には合わなかった。次に生徒になげかけたのは、譲の精神である「周りの人のために力を尽す」でした。するとどうでしょう、今まで出しおしめていた自らの力を、人のためなら最大限発揮しようとしていました。なにより、生徒の目が輝いていました。「あー九里の生徒はこれなんだ！」と強く感じました。

九里の生徒は、誰かの役に立った喜びが達成感となり、自信となり、更に役に立てるように力を付けようとするのです。施設でのボランティア、震災関係のボランティア、海外でのボランティア、日常生活での周りの人のために力を尽したこと等たくさんさんの善行から学んだことを、その時の気持ちを忘れないで欲しい。周りの人や困っている人のためにやったことが、かえって自分の方が助けられたこと、ありがたかったことを忘れないでいよう。

これから卒業する皆さんは、決して九里の譲の精神を忘れないで続けて実践していこう。それが新生活をうまくスタートできることになり、順調に人との絆が育まれることになります。九里の高校生活で、クラスや学年

部活等で絆が生まれたのは、みんな一人ひとりが、自分の力をクラスや学年部活等で発揮してくれたからです。大人しく控えめだった人も堂々と自分の力を出していこう。そしてますます自分に力をつけるきっかけを作り、力強い社会人となつて下さい。卒業後、たくましくなつたみんなに会うのがたのしみです。

卒業おめでとう!!

礼・譲の実践と積み重ねを！

三年副主任 福崎 正史



今までの世の中もそうだが、これからの社会もいっそう厳しく、また

激動が予想される。こうした中でも誰しもが平穩にそして幸せに生活できることを願っていると思う。ではどうすればいいのだろうか。方法の一つ！

自分がこれから行なおうとしていることが、九里学園の三年間の生活を通して学んだ「礼」や「譲」からはずれていないか…という点検を怠らないこと…だと思えます。「礼」や「譲」に合致していれば必ず、幸せに生活できること間違いないありません。

感謝の気持ちを忘れずに

三年副主任 豊嶋 達也



ご卒業おめでとう
ございます。皆さんの
今までの学校生活を
背後で一番支えて下

さつたのは、ご両親を始めとするご家族の皆様だったことと思います。そして今後もずっと応援して下さいと思います。これからの人生の中で自分を支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずに、どうぞ自分の道を自分らしく歩んでいって下さい。

前へ出る事

三年副担任 原田 隆弘



一年、二年と男子
クラスの担任をやり、
三年では副担任という
事で、全てのクラス

に顔を出させてもらいました。それぞれのクラスのカラーがあり、私自身も楽しませてもらいました。この学年は人数も多く、様々な活動で勢いがありました。ただ物足りなさも感じました。もっと輝く存在がいるのに、引っ込んでしまう事。自分自身の良さをもっと引き出し、様々な場面で活躍する事を願っています。常に向上を目指し歩んでいって下さい。



一所懸命

担任 岩谷 義彦



卒業にあたり、
本当なら明るく夢
のある言葉を贈る
べきなのかもしれませんが、空気を
読まずに厳しい話題にいたしました。
かつて、武士は自分の領地を
守るために一所懸命にがんばり
ました。文字通り、「一つの場所」
を「命を懸けて」守りました。現
在の日本経済には閉塞感が漂い、
失業率は依然四%を下回らず、消
費税の増税により国民の負担は一
層大きくなるのが予想されます。
しかし、そのような厳しい世の中
でも、自分の居場所を作り、それ
を守るために必死で生きている人
たちはたくさん居ます。それは過
去も現在も変わらないのではない
でしょうか。卒業生のみならず、
先ずは自分の居場所・生活を築く
ために必死にがんばって下さい。

『三年間をふり返って』

小池 勇輝

私にとつての三年間は、とても短い
ものでした。しかし、とても充実して
いました。特に、三年間バスケットボー
ル部で活動し、キャプテンを務めた経
験は、私を大きく成長させてくれたと
思います。そして九里学園で絆を深め
た友人は一生の宝物です。

最後に、お世話になった先生方、見
守って下さった両親に感謝したいで
す。三年間本当にありがとうございました。

『振り返り』

高橋 尚展

振り返ると、高校三年間は、とて
も有意義だったと思います。学校生
活はもちろん、部活動ではインター
ハイにも行くことができました。一
生懸命やったことは必ず自分に返っ
てくると分かった三年間でした。

二年次に行ったオーストラリア研
修旅行でほんやりしていた将来の夢
もはっきりと決まり、卒業後はその
夢を叶える為に努力します。

私が迷惑をかけたであろう沢山の
先生方、すいませんでした。感謝し
ています。それと私と関わってくれ
た友人のみんなこれからもよろしく。

『感謝』

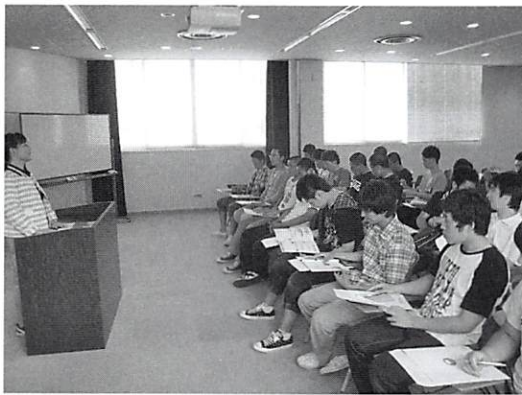
山科 博紀

入学当初の僕は友達がちゃんとして
きるか、勉強をちゃんとやっつけてい
るかと不安でしたが、入学してすぐ
友達も沢山でき、優しい先生方が熱
心に勉強を教えてくださいました。

僕の高校生活三年間は、沢山の人
に愛情を注いでもらい一回りも二回
りも成長できた三年間でした。

僕に携わってくれた全員の人に感
謝を伝えたいです。

三年間ありがとうございました。





贈るこぼ



担任
佐藤 秀人

「やったあ卒業!!」「もう卒業?」今の自分はどっちの心境だろうか。卒業を心持ちにしていた人、本当に大丈夫か?このまま就職や進学をして、自分で生活していけるか、卒業して不安な人、三年間何を学んできたのか。卒業して自分がどれだけのことができるのか、何ができるのか、様々なことが未知数である。だからこそ三年二組の生活心得を常に意識して生活しなさい。

環境が犯罪を生む
環境が人生を好転させる
謙虚な姿勢が大きな成功を生む
頑張れ!!



『三年間で私が得た物』

佐藤 廉大

私の三年間というところ、大半が部活だったような気がします。私は野球部に所属しており一年生の入学した頃から三年生の夏までの二年半という短い間で済ませました。かりとやりとげる事ができました。高校野球のおかげで中学の時よりも肉体的、精神的に強くなり、あいさつ、お礼などの礼儀作法がすっかり身に付きました。

この高校野球で得た事はこれからの社会で活かしていける事だと思っております。意識して生活していきたいと思えます。

『引退』

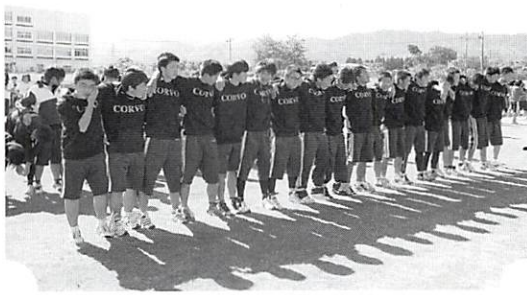
佐原 一斗

自分は高校三年間、バスケットボール部に所属していました。一年生の頃から、富樫先生の厳しい日々の練習を頑張ってきました。夏休みの練習や合宿などでは、嫌になるほど走らせられました。そのおかげで、「県ベスト8」までいく事が出来ました。目標には少し届きませんでしたが、最高の仲間とプレーする事が出来て本当に幸せでした。ありがとうバスケをして、さようならバスケ。

『三年間を振り返って』

佐藤 俊介

自分はこの三年間を振り返ってみて、自分に自信を持つ事が出来たと思います。何故かというところ、一年の時の自分は自信が無く、うまく友達が作れるか不安でした。でも陸上部に入ってからコーチや米子先生・原田先生にいろいろなことを教わり自分でもやればできるという気になりました。二年、三年では大会に出場する度に自信がつか、県で上位の結果を残す事ができました。陸上部に入ってから本当に良かったと思います。三年間ありがとうございました。





『YES, WE CAN.』

担任
遠藤 健

卒業おめでとう！人生は「一期一会」。面白いのは、一生同じ人だけで付き合うのではなく、その時その時で新たな出逢いがあり、未来が広がったり、自分が変わったりしていくこと。自分が影響を受けて変わることもあれば、その反対にあなたが他人へ影響を与えることもある。四月からは新たなスタート地点に立つ。自分改革のチャンス。目立ちたがり屋のあなた、控えめなあなた、関わったみんなには、周りの人へ良い意味での起爆剤になってほしい。きつとできるはず。YES, WE CAN.

クラスモットー

「自分改革」

『生徒会執行部としての自分』

小林 一輝

私は一年の後期から生徒会執行部として活動してきました。

当時の私は学園の運営を楽しそうに行っている先輩方がとてもかっこよく見えて憧れの存在でした。

執行部の先輩やみんななどの活動は充実していて、自分の人生の生き方を変えてくれた物だと思っています。

自分が先輩という立ち場になり少しでも後輩から親しまれるような学園生活を送ってこれていたからいいと思っています。

九里学園で経験した「生徒会執行部」を私は人生の糧にしていきたいです。

『高校生活三年間を振り返って』

鈴木 天智

私の高校三年間はとてもしっかりと、三年間に過ぎていきました。私は、この三年間で高校は自分の可能性をのびし、進路実現に向けて準備をする場所だと学びました。これからは社会人として新たな一歩を踏み出していくわけですが、今まで支えてくれた家族や先生方、友達に感謝の気持ちを忘れず次のスタートラインに立ちたいと思います。私の高校生活はとて充実したものであります。

『思い出』

渡邊 亮一

私の高校生活三年間を振り返ってみると、野球漬けの毎日でした。入部した頃を考えると、こんな辛い練習を毎日続けられるか不安でしたが、今、引退をし、卒業間近になってみると、あの辛い日々が良い思い出となっています。

この九里学園での生活は、とても充実していて、良い思い出しか残っていません。この九里学園で生活したことを社会人になって活かしていきたいと思っています。





キセキ
日々の軌跡、
一人ひとりととの出会いの奇跡。



担任
長谷川和美

三年生の皆さん、卒業おめでとう
ございます。そして、四組のみんな
一年間ありがとうございます。この一年は、毎
日充実していました。三年生になり
進路に真剣に向き合い努力してきた
事、行事でみんな盛り上がり、一
致団結していた事、すべてが青春の
一ページとして心に残っているの
ではないでしょうか。四組に一人ひと
りの成長が感じられました。思い
やりがあり、個性豊かな仲間達で
す。この出会いや今まで支えてきて
下さった方への感謝の気持ちを忘れ
ずにこれから進む道、どんな困難が
あってもみんなのパワーと笑顔で乗
り越えてほしいと思います。幸せな
人生を。大好きな四組のみんなへ。

クラスモットー

この出会いを大切に、一人
ひとりを思いやるクラスに。
今を大切に。輝こう。

私が好きになれる私に

市川 桜

自分を好きになる、というのは
難しい事です。この三年間、何度
も自分を嫌いました。でも様々な
経験を通し、成長した今では自分
の事が好きです。これは大切な事
ですよ。自分を一番理解してい
るのは、大切にできるのは、他の
誰もいない自分だから。
自信が持てなくてもいいんです。
自分を好きになれば、周りの人
も好きになれる。それだけで、私
は今、幸せだと言えます。

感謝

鈴木 彩夏

私の高校生活で一番感謝すべき
人は、長谷川和美先生です。和美
先生は三年間私の担任をしてくだ
さり、長い時間過ごした分、誰よ
りも迷惑をかけました。楽しい時
も悲しい時も母となり、時には友
達となって近くにいてくれました。
今こうして進路が決まり、たくさ
んの思い出、そして最高の仲間達
と共に卒業できるのは和美先生のお
かげです。三年間、本当にあり
がとうございました。

得たもの

根津 晶菜

九里に入学して本当に良かったです。な
ぜなら私は九里で色々なことを経験し、学
び、成長することができたからです。今の
自分があるのはご指導して下さいました先生方
そして周りで支えてくれた友人たちのおか
げです。

もう一つ、私にとって九里に入学して一
番良かったと思うことがあります。それは、
本当に大切だと思う仲間に出会えたこと
です。彼女たちと過ごせる時間は、とても
楽しく充実していました。彼女たちがいた
からこそ、私は何でも乗り越えることがで
きました。彼女たちは私にとってかけがえ
のない存在になりました。

大切な出会いを与えてくれた九里学園に
ありがとうございます。私と関わって下さった皆様
にありがとうございます。





Wish you a
wonderful life!



担任
ダウニング文

何から話そう…君達との毎日は、数え切れないほどの出来事があったから、思い出そうとする記憶があふれそうになる。お互い一生懸命だったりして、ぶつかったり、すれ違ったり、うまく伝わらないこともあった。切ない場面や思い通りにならない悔しい場面も、確かにたくさんあった。でも不思議と、いま、私の心に浮かんでくることは、思わず抱きしめたくなるような、愛しい思い出ばかりだ。

今年は大変だったのに、君達一人ひとりがベストを尽くして頑張ってくれたから、忙しくても、いつも、前向きでいられた。ありがとう。君達の卒業は、さびしい気もするけれど、やっぱり何よりも嬉しい心からおめでとう！一緒に読んだ画家のサリ・ジョンソンの言葉を贈りたい。人生でいちばん大切なことは、幸せに生きることに、他の人々を幸せにできること。

クラスモットー

We will be there
for each other.

翔

鈴木 未翔

あつという間だった三年間。私にとつて毎日が充実していたように思う。三年五組で共に支え合つたことは一生忘れることはない。そのぐらい濃いものだった。皆と、いや九里と離れることがこんなにも切ないとは、誤算だった。明日があることに期待し、皆と過ごす日々が当然だった。そう思う自分も、もういないと思うと切ない。しかし、私は未来に羽ばたく。未来に翔ばたくのだ。

三年間ありがとう。

高橋 芽生

私の高校生活は、生徒会に部活、進路と毎日忙しく苦悩の連続だったが、多くの人々に支えられ、笑顔でいられた三年間だった。まずは、どんな時も味方でいてくれた沢山の笑顔をくれた友人達へありがとう。

次に、いつまでも私を支えてくれていつも心配してくれて沢山の愛情をくれたお母さん、お父さんへありがとう。

それから沢山の厳しさと優しさで私を成長させてくれた先生方へありがとう。

沢山の人たちのおかげで、私の高校生活はこれからの未来において限りなく大きな糧であり、一生の宝物だ。

私の三年間を振り返って

山田奈々恵

三年前の今頃、私は何を考えていたのでしょうか。卒業をすぐそこに感じながら、ふと考えてしまいます。

九里学園に入学してからは、毎日があつという間に過ぎてしまいました。演劇部に入部して、先輩方から厳しい指導を受け、自分達の代になつてマネージャーを任されて嬉しく思いました。それが、ついこの間のことのように感じます。

私の三年間は良い友達、クラスメイト、先生方に恵まれて幸せでした。大学に行つてからは今以上に困難な道になると思いますが、自分に負けずに頑張ります。





「明るく元気に、
笑顔の人生を」



担任
吉田貴美子

三年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。今日まで温かく見守って下さいましたことに深く感謝申し上げます。

三年六組の生徒達は、私にとって「特別なもの」になっています。正直、「卒業」していくことにも

の凄く寂しさを感じています。しかし、社会という新しい場所がみんなのことを待っていますから、私は、明るく元気に笑顔で見送ります。みんなが歩んだ進路実現までの道のりは、『真剣さ』『最後まで諦めない姿勢と努力』『仲間と一緒にやり遂げる団結力』でした。このことが一人ひとりを向上させ、自分を進化させていったことを自信にして下さい。そして、九里の教えと六組で培った経験をもとに「明るく元気に笑顔の人生」をスタートさせてください。笑顔でまた逢いましょう。

夢を叶えるために

中澤 夕輝

高校生活三年間を振り返って、入学した頃はただ毎日をなんとなく過ごしていました。しかし、このままではいけないと思っていた頃、以前から私は人の助けになりたいと思っていたため作業療法士という職業を知り、その道に進もうと決意しました。私は、夢に少しでも近づくために積極的に高校生活を送り、人間性の向上を意識して生活したことで、成長できたと感じます。進学先では夢が実現できるように九里の教えを土台にしっかりと励んでいきます。

たくさんの人に出会えたキセキ

鈴木 優実

九里に入ってから三年間はとてもあつという間で卒業するのが寂しいです。一日一日がとても充実していて最後まで指導して下さった先生方、笑ったり泣いたりすることが出来る友達、共に大会に向けて技を磨き合った仲間、どれも私にとって大切な出会いでした。

ここまで育ててくれた家族には感謝の気持ちで一杯です。これから社会に出る私ですが、九里で学んだ礼と謙、協同和楽を忘れずに立派な社会人になりたいと思います。

最後に六組の皆、時にふがいない私についてきてくれてありがとう。三年生サイコー!!皆それぞれの道に向かって諦めずに頑張りましょう。We are Family☆

高校生活三年間を振り返って

澤 真美

私は、九里学園での三年間でたくさん成長する事ができました。

入学したての私はいろいろな面で未熟で熱中する事もなかったけど、でも熱中する事もなくなってきた。ですがこんな私でも九里の先生方はいつでも親身してくださり生徒をよく考えてくださいました。また本気でぶつかり合ってくれる先生は九里学園にしかないと思います。

何気なく選んだ学校でしたが今では私の全てを変えてくれた学校にとっても感謝しています。

そして仲間を大切にすることができた私、高い目標を越える事ができた私、自分が変わった事が一番嬉しかったです。

これからの経験をふまえ、今春から社会人としての自覚を持ち歩んでいきたいと思えます。ありがとうございました。





Where there is a
will, there is a way!



担任
鈴木 精

卒業おめでとう...と言いた
ところだが、素直に言えないも
のがある。現代社会は閉塞感に
満ち、変化が急速で激しく、不
安定で混沌としているため、夢
や希望をもつことはおろか、生
きるための道を切り開いていく
ことが非常に困難になっている。
しかし、こんな世の中で逆境を
もろともせず、大切なものを失
わないで夢や希望を持ち、真に
おのおの道を切り開いた時、心
からおめでとうと言いたい。そ
して、イノベーションを起こし
てくれることを切に願う。

クラスモットー

豊かな人生を!!

目的意識、知識、
教養、好奇心 e t c

この三年間で学んだこと

芳賀 優亮

私はこの三年間たくさんさんの事を学
びました。部活動では陸上競技部に
所属し、また、学業についてはプロ
GRESSコースに入り、勉強・部活動
ともに両立していくのがとても大変
でしたが、大人になって必要な知識
や判断力を養うことが出来ました。
これから私は消防士として働くこと
になるので、このようなことを活か
し、住民の方々に信頼されるよう頑
張ります。

九里での三年間

萱森 まい

毎日が楽しかった三年間を振り返りか
えると、九里でよかったなと思いま
す。個性的な先生の授業はおもしろ
かったし、文化的な体験もたくさん
できました。特にハワイ研修は、大
自然に触れて、異国の文化に出会う
ことで視野を広げることができた
と思います。あつという間の三年間
でしたがとても濃く充実していました。
クラスみんな、精ちゃん、九里に
感謝してます。ありがとうございます。

九里学園に入って

鈴木 悠花

大きな期待と少しの不安を抱えな
がら迎えた入学式のことを、今でも
鮮明に覚えています。あの想像し
ていた以上にこの三年間は学業や部
活動、友人との思い出いっぱい
になりました。生徒の個性を尊重する
自由な校風は、様々な学びの機会を
提供してくれました。そのたくさん
のチャンスも活かし、成長すること
ができました。九里学園に入ったか
らこそできた経験もたくさんありま
す。それらの経験を活かし、四月か
らの新生活もがんばっていきたく
思います。三年間ありがとうございます
ました。



卒業おめでとう！

保護者からのメッセージ

旅立ちへのラブレター

二組保護者 我妻 忠昭

拝啓 卒業生諸君殿。このたびは九里学園高等学校のご卒業、誠にありがとうございます。そしてこの区切りの新しいスタートの始まりでもあります。この学園で学んだ事、三年間で見たこと、聞いたこと、そして失敗も含めて体験した事は、これから生きて行く上で、何一つ無駄な事はありません。人生とは長いマラソンであり、後で必ずそれが糧となることとしましょう。この佳き日まで導いてくれたご両親、先生方への感謝を胸に、高く・高く翔び立て、二〇二二年度九里学園高等学校卒業生。敬具

卒業生へ送る言葉

三組保護者 長岡 国広

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。きつと期待と不安が入り交じっていることとでしょう。そんなみなさんに送ります。

「人生適当」

適するに当たる行動をとればおのずと道は開かれる。人生後悔することはあれど自分で選択した道に間違いはない自信を持って人生を楽しんでほしい。どうか新しい世界でもご活躍ください。

卒業にあたり

四組保護者 松田 智博

長かったようで、あっという間に時が経ちました。みなさんはこの三年間の学校生活はどうだったでしょうか？きつと楽しかったことや辛かったこと、たくさんの経験をしたと思っっています。最大の出来事は、東日本大震災後のボランティア活動ではなかったでしょうか。被災された方々に寄添い、出来ることを精一杯したことは、きつとこれから生きるための何かを学んだことと、たくさん学び感じたことを誇りに、決めた道を進んでください。卒業おめでとう!!

自分らしく進め

五組保護者 辻 浩明

卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。人生は長いようで短く、短いようで長い。努力しながら人間としての成長を求め、努力し、獲得して行く中で、時が流れて行くその間に、成功、失敗、友情、恋愛など、沢山の楽しいことや悲しいことがあります。その出会いが人生を豊にしてくれる。それぞれの出会いが素晴らしいものであるかは、全てその時の自分の姿勢や存在感に掛っている。他者との関わりの中で幸福を引き寄せる力を君たちは持っている。だから、臆することなく自分らしく進め。

古里に誇りを持って

六組保護者 今野 充

皆さん、ご卒業おめでとうございます。九里学園での三年間、勉強に部活にそして学園生活に楽しい事や辛い事、いろいろあったでしょうが、将来はいい思い出になる事と思います。

これからは皆さん、それぞれ進学に就職にと違う道に行かれるでしょうが、今まで育った、この古里に誇りを持ってこれからの人生を歩んで行って下さい。

それでは最初の一步を楽しみに！

「前進」

七組保護者 鈴木 里佳

男子六人、女子五人でスタートしたプロGRESSコース第五期生。早い段階で、自分の夢や目標について深く考え決断した仲間もいて、進路も今までになくバラエティに富んだこのクラス。様々な考え方を受け入れる柔軟さが身に付いたのではないかと思います。これからは色々な事があるけれど、三年間共に過ごした仲間たちが、きつと君たちを支えてくれるはずですよ。このクラスでつけた自信と誇りを胸に前進して行ってほしいと思います。

『卒業』今この時から始まり

一組保護者 島津 敏弘

ご卒業おめでとうございます。これからも大事にして欲しい事は、今この時を悔いのないように過ごして欲しいということです。今、この瞬間を大事にやるべきことは素早い判断で今実行する。実行した事に対して反省しても良いと思う。実行せずに悔いを残すより前に進む事ができるはずである。今この時の積み重ねが一日そして一年、未来と繋がる。社会人となる人、学生生活を継続する人それぞれの道はあると思うが、それぞれの『今この時』を大事に頑張ってください。

P T A 活動報告

三学年PTA活動

田中かよ子

◇一学年時 「芋煮会」

◇二学年時 「納豆巻き作り」

◇三学年時 「餅つき」

二月五日「地球のステージ」講演後、

三学年行事「餅つき」が体育館で開催された。

用意された臼に蒸されたもち米が入ると、もち米の湯気と香りが底冷えする体育館に広がり、気持ちがあたたかくなりました。若さなのだろう、生徒たちは元氣一杯で、餅をつく音が体育館の中に響き渡り、どちらかというと女子のほうが積極的で元氣さが勝っていたかもしれません。

餅は納豆とあんこが準備され、初めての体験なのか、女子がたのしそうに餅をちぎり具を絡めている姿が微笑ましかったです。



生徒たちは美味しそうに頬張り、

何度もお代わりに来る生徒もいました。我々もご相伴にあずかりました。これは家庭での物とは違い、皆で味わうから更においしさを感じるのではないのでしょうか。

おなかも一杯になり楽しい時間もあったという間に過ぎ、三年最後の思い出に残る学年行事でした。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます。

米沢第三支部活動

親子で学ぶテーブルマナー

五十嵐三三江

今年でテーブルマナー講座も、五回目を迎えました。毎年、多数の参加者と共に「肉の黄木」さんにお世話になっております。

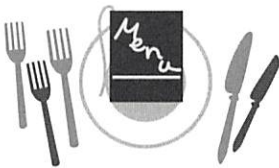
親しみやすい講師（従業員）の力と、おいしく頂き、楽しく学べるマナー講座です。

食事の後は、ビンゴゲームをして、親子共に楽しく盛り上がりま

す。

今年度は、男子生徒の参加が、なかったのですが、次回は是非、声をかけあい参加して欲しいです。

高校生にもなると、親子で行動する事が少なくなるので、この様な機会を利用し、親子共通の時間を楽しんでもらえれば、最高です。



「みんなで生徒を褒めましょう」

生徒指導課長 大滝 勤

校是である「礼・讓」を常に身につけさせるべく教育の至る所に創意工夫をし、日々実践している我々教員にとって、次のようなお話は教育活動の糧となります。この幸せを保護者や読者の皆さんにも一緒に味わっていただきたいと思ひ紙面をいただきました。

VOL①

外部の老人からのお電話より

(10月)

夕方、自転車を押して自宅近くの道を歩いていたら、バランスを崩し側溝に自転車ごと転落してしまいました。そこに通りがかった九里学園の男子生徒さんたちが私と自転車を引き上げてくれました。「大丈夫ですか?」と声をかけていただくだけでも心強いのに、自分の制服を汚しながら懸命に私と自転車を引き上げてくれた生徒さんたちに、感謝をしてもしきれませ

ん。お名前も聞けずそのまま「ありがとう」もきちんと伝えることが出来なかつたので、先生のほうからその生徒さんたちにお礼を伝えてほしいです。お願いいたします。

VOL②

ある小学校の校長先生より

(11月)

いつもは車で通勤しているのですが、その日は職場の飲み会があり、八時くらいに九里学園の校舎近くを徒歩で帰宅していました。そこで部活動帰りの男子生徒諸君の集団とすれ違わなければならぬい場面に遭遇しました。生徒さん方は体も大きいし人数も結構いたので何となく威圧感を覚えながらなんとかすれ違おうとしたところ「こんばんは、さようなら」と元氣な挨拶をすれ違う全員からいただきました。「近頃の高校生は、ろく

に挨拶も出来ない」などという一般論を脳裏に浮かべせた自分が情けなくなりました。見ず知らずの私に丁寧な挨拶をしてくれた生徒たちに私は感激し、いつのまにか私も「さようなら」と小学生とふれ合うのと同じ挨拶をしていました。私はその後、新聞を見るたび九里学園の生徒諸君の活躍に目を細めているのです。これからの活躍を心から応援しています。

VOL③

外部の方からのお電話より

(12月)

大雪の夕方、私はデイスービスでお年寄りを自宅まで送り届けるために大きめの車を運転していたところ、細い路地で脱輪してしまい立ち往生してしまいました。そこを通りがかつた三人の九里学園の生徒さんたちが「手伝います」と雪中懸命に車を押ししてくれました。そして無事に車輪は溝から脱出しお年寄りを送り届けることが出来ました。雪だらけになりながら力一杯車を押ししてくれた生徒さんたちに「ありがとう」の言葉だけで

その場を立ち去ってしまいました。が、動き出した車に笑顔で見送ってくれた生徒さんの様子は今でも目に浮かびます。先生、ぜひ生徒さんたちに私の感謝の気持ちを伝えてほしいのです。ほめてやって下さいね。

以上三つのお話です。

私はこのような話をいただくいつも幸せな気分になります。お読みになったみなさんはいかがでしょうか。

生徒たちの「礼・讓」の実践は、表に出てこないものもまだまだたくさんあると思います。慈善行為は本来、見返りを求めないものですから、人知れずさりげなく行なわれているのだと思います。しかし人間は何歳になってもほめていただけるとうれいものです。保護者の皆さん、このような話を自分の子供のことに「九里学園の生徒、日頃から良いことをしているんだね」とほめてあげて下さい。きっと子供たちの成長が加速すると思います。

平成二十四年度 第三学年褒賞受賞者

() 内の数字はクラス名

● 学習活動優秀賞

相田峻 佑(1) 大泉 綜(1)
 小池勇輝(1) 小山 諒(1)
 佐藤健寛(1) 佐藤千裕(1)
 安部斗夢(2) 枝松 幸人(2)
 佐原一斗(2) 鈴木拓夢(2)
 鈴木天智(3) 高橋 幹(3)
 阿部美乃里(4) 市川 桜(4)
 木村真菜(4) 齋藤彩香(4)
 鈴木莉奈(4) 鈴木若菜(4)
 諏訪美里(4) 高橋千明(4)
 高橋 葉(4) 根津晶菜(4)
 松岡 沙裕海(4) 松田光乃(4)
 三嶋美香(4) 今野みやび(5)
 齋藤友季絵(5) 田中理沙(5)
 橋本実穂(5) 星 叶実(5)
 丸山真琴(5) 石塚萌子(6)

伊藤千晶(6) 工藤奈々美(6)

● 特別教育活動〈優秀賞〉

今野佑香(6) 佐久間未菜(6)
 佐々友里恵(6) 佐藤沙織(6)
 澤 真美(6) 須貝有紗(6)

◆ 保健厚生委員

志田佳蓮(4)

高橋芽生(5) 西 夏美(5)

◆ 陸上競技部

鈴木悠花(7) 高橋 棕(1)

◆ 図書委員会

阿部美乃里(4) 土谷育未(5) 情野 神(1)

● 特別教育活動〈功績賞〉

陸上競技部 江口悠貴(1)

● 特別教育活動〈功劳賞〉

陸上競技部 高橋尚展(1)
 安達恭平(2)

◆ 生徒会

加藤優一(1) 青木 頌(2) 菅井大地(7) 芳賀優亮(7)

大友椋太(2) 後藤清弥(2) 高橋七海(7)

齋藤健太郎(3) 佐久間昭典(2)

安部史哉(3) 小林一輝(3) ◆ 卓球部

竹田将弘(3) 長瀬玲捺(4) 志田征陽(2) 玉虫毅行(2)

中島茉奈(4) 根津晶菜(4) 齋藤健太郎(3) 八幡 恵(5)

早川知里(4) 若林佳奈(4) 志賀愛莉(6) 高橋 舞(6)

遠藤亜衣(5) 倉 瑞希(5) 種部未希(6)

鈴木彩香(5) 鈴木未翔(5)

◆ソフトボール部

伊藤 千晶(6) 伊藤 由紀(6)

今野 みやび(5) 佐藤 沙織(6)

下島 清楓(5) 鈴木 若奈(4)

高橋 葉(4) 高橋 奈々(5)

齋藤 健太郎(3) 竹田 将弘(3)

鈴木 弥也(5)

◆男子バスケ

川上 巧平(2)

◆生活科学部

鈴木 真紀(4) 小関 紗耶佳(5)

新藤 夢花(6) 諏訪 美里(4)

樋口 愛美(5)

●特別教育活動〈努力賞〉

高橋 幹(3)

長岡 万聖(3)

◆美術部

羽賀 明日香(5)

◆女子バスケ部

市川 桜(4) 井上 美穂乃(4)

大場 珠里(4) 片倉 彩花(4)

齋藤 彩香(4) 志田 佳蓮(4)

清井 実来(4) 阿部 明日華(5)

鈴木 未翔(5) 横井 梨可(6)

佐藤 愛海(7)

門間 正美(6)

菅野 桃子(4)

◆野球部

石田 憲司(1) 舟山 拓宏(1)

大津 遼太郎(1) 大泉 綜(1)

嘉藤 俊介(1) 島津 大地(1)

橋本 祐哉(2) 佐藤 廉大(2)

遠藤 功雄(2) 鈴木 拓夢(2)

加藤 幸樹(2) 伊藤 大和(2)

枝松 幸人(2) 高橋 公平(3)

高橋 竜生(3) 中根 弘貴(3)

竹田 拓朗(3) 渡邊 亮一(3)

◆文芸部・イラストアニメ愛好会

吉野 はるか(6) 阿部 美乃里(4)

三嶋 美香(4) 若林 佳奈(4)

星 美帆(5) 伊藤 千晶(6)

◆茶道部

倉 瑞希(5) 遠藤 亜衣(5)

◆男子バスケ部

小池 勇輝(1) 佐藤 健寛(1)

佐原 一斗(2) 佐藤 千裕(1)

◆バレー部

松田 光乃(4) 五十嵐 ゆい(6)

今野 佑香(6) 鈴木 悠花(7)

◆剣道部

高橋 晶太(7)

◆JRC部

辻 亜貴世(5) 星 叶実(5)

高橋 杏菜(5) 川瀬 結佳(6)

大亀 志伸(6) 鈴木 愛理(6)

鈴木 莉奈(4)

◆文芸部

吉野 はるか(6)

◆弓道部

梅沢 美穂(5)

◆女子テニス

後藤 都(4)

井上 麻侑(5)

佐藤 結衣(5)

吉田 葵(5)

◆サッカー部

松田 大地(1)

保刈 智也(2)

相田 峻佑(1)

安部 史哉(3)

◆ダンス部

萱森 まい(7)

◆新聞部

加藤 優一(1) 安部 史哉(3)

鈴木 愛美(6)

◆書道部

色 摩 茉 美(6) 齋 藤 利 奈(6)

一年間皆勤賞

精勤賞

読書感想文優秀賞

○基本に忠実であること

高橋 晶 太(7)

◆吹奏楽部

鈴 木 彩 香(5) 鈴 木 優 実(6)

舟 山 拓 宏(1) 相 田 峻 佑(1) 佐 藤 健 寛(1) 山 科 博 紀(1)
 大 泉 綜(1) 渡 邊 貴 謙(1) 小 池 勇 輝(1) 大 津 遼 太 郎(1)
 高 橋 椋(1) 青 木 頌(2) 島 津 大 地(1) 鈴 木 大 登(1)
 川 上 巧 平(2) 佐 原 一 斗(2) 高 橋 尚 展(1) 高 木 友 朗(1)
 玉 虫 毅 行(2) 橋 本 祐 哉(2) 遠 藤 功 雄(2) 田 中 昇 吾(2)
 安 部 史 哉(3) 竹 田 将 弘(3) 保 刈 智 也(2) 金 子 敬 右(3)
 竹 田 拓 朗(3) 市 川 桜(4) 情 野 智 洋(3) 中 根 弘 貴(3)
 鈴 木 莉 奈(4) 鈴 木 若 奈(4) 飯 田 庸 介(3) 高 橋 幹(3)
 高 梨 千 明(4) 高 橋 葉(4) 井 上 美 穂 乃(4) 木 村 真 菜(4)
 早 川 知 里(4) 林 美 穂(4) 齋 藤 彩 香(4) 佐 原 瑞 希(4)
 松 岡 沙 裕 海(4) 松 田 光 乃(4) 栗 原 ま じ か(4) 佐 藤 結 衣(5)
 若 林 佳 奈(4) 西 京 美 紅(5) 鈴 木 未 翔(5) 辻 亜 貴 世(5)
 佐 藤 は る か(5) 高 橋 杏 菜(5) 星 叶 実(5) 石 塚 萌 子(6)
 八 幡 恵(5) 遠 藤 沙 穂(6) 伊 藤 千 晶(6) 中 澤 夕 輝(6)
 川 瀬 結 佳(6) 齋 藤 春 菜(6) 吉 野 は る か(6)

◆PCC愛好会

風 間 雄 貴(1)

玉 虫 毅 行(2) 橋 本 祐 哉(2) 遠 藤 功 雄(2) 田 中 昇 吾(2)
 安 部 史 哉(3) 竹 田 将 弘(3) 保 刈 智 也(2) 金 子 敬 右(3)
 竹 田 拓 朗(3) 市 川 桜(4) 情 野 智 洋(3) 中 根 弘 貴(3)
 鈴 木 莉 奈(4) 鈴 木 若 奈(4) 飯 田 庸 介(3) 高 橋 幹(3)
 高 梨 千 明(4) 高 橋 葉(4) 井 上 美 穂 乃(4) 木 村 真 菜(4)
 早 川 知 里(4) 林 美 穂(4) 齋 藤 彩 香(4) 佐 原 瑞 希(4)
 松 岡 沙 裕 海(4) 松 田 光 乃(4) 栗 原 ま じ か(4) 佐 藤 結 衣(5)
 若 林 佳 奈(4) 西 京 美 紅(5) 鈴 木 未 翔(5) 辻 亜 貴 世(5)
 佐 藤 は る か(5) 高 橋 杏 菜(5) 星 叶 実(5) 石 塚 萌 子(6)
 八 幡 恵(5) 遠 藤 沙 穂(6) 伊 藤 千 晶(6) 中 澤 夕 輝(6)
 川 瀬 結 佳(6) 齋 藤 春 菜(6) 吉 野 は る か(6)

○冬の大三角と私の物語

羽 賀 明 日 香(5)

◆演劇部

青 木 頌(2) 長 瀬 玲 捺(4)

鈴 木 莉 奈(4) 鈴 木 若 奈(4) 飯 田 庸 介(3) 高 橋 幹(3)
 西 夏 美(5) 西 京 美 紅(5) 高 梨 千 明(4) 高 橋 葉(4) 井 上 美 穂 乃(4) 木 村 真 菜(4)
 山 田 奈 々 恵(5) 早 川 知 里(4) 林 美 穂(4) 齋 藤 彩 香(4) 佐 原 瑞 希(4)
 松 岡 沙 裕 海(4) 松 田 光 乃(4) 栗 原 ま じ か(4) 佐 藤 結 衣(5)
 若 林 佳 奈(4) 西 京 美 紅(5) 鈴 木 未 翔(5) 辻 亜 貴 世(5)
 佐 藤 は る か(5) 高 橋 杏 菜(5) 星 叶 実(5) 石 塚 萌 子(6)
 八 幡 恵(5) 遠 藤 沙 穂(6) 伊 藤 千 晶(6) 中 澤 夕 輝(6)
 川 瀬 結 佳(6) 齋 藤 春 菜(6) 吉 野 は る か(6)

三年間皆勤賞

加 藤 優 一(1) 江 口 悠 貴(1)
 風 間 雄 貴(1) 長 岡 万 聖(3)
 鈴 木 天 智(3) 後 藤 都(4)
 諏 訪 美 里(4) 三 嶋 美 香(4)
 倉 瑞 希(5) 丸 山 真 琴(5)
 山 田 奈 々 恵(5) 種 部 未 希(6)
 芳 賀 優 亮(7) 佐 藤 愛 海(7) 高 橋 晶 太(7)



平成二十四年度 進路状況について

進路指導課長 遠藤 英

今年度の進路希望は、進学が七割、就職三割と、昨年とほぼ同じ割合です。

大学・短大進学は、全体の二七%を占め、分野は文系が八割強、理系が二割弱となっています。学部は多様ですが、医療・社会系分野や教育分野の希望が増えています。入試方法では、AOや公募指定校推薦の割合が増え、一般受験の割合が少し減っています。

専修学校進学は、全体の四一%を占め、分野は、衛生（調理・美容）や医療看護、情報ビジネスの希望が増えています。専門学校への進学については、将来の職業を見据え、学校見学などで間違いのない学校選択ができるよう指導しています。

就職は、県内は復興にともなう建設業の求人数をはじめ、震災からの立ち直りを反映して過去一〇年で最多の求人数となりました。しかし、円高や家電業界の低迷により製造業は伸び悩んでいます。また、県外は本校との信頼関係が

厚い企業から今年も求人頂くことができましたが、企業によって震災以降、より高いレベルが求められるようになりました。厳しい環境の中でも本校生徒は就職活動に励み、良い結果を実現しました。進学、就職とも、生徒の皆さんの進路実現への真剣な取り組みと保護者の皆様のご支援に深く感謝しております。また、三学年の先生

方をはじめ全校挙げての指導により、目標の進路実現に近づいているものと思います。
進学・就職のどちらにおいても、三年生になってからの準備や努力だけでは限界があります。在校生の皆さんは、今からしっかりと自分の将来を考え、明確な目標を持って進路実現のための準備に入るこ

毎日の雪掻き・雪下ろしなど
厳しい米沢の冬の生活から解放された今日この頃、三年生も卒業を迎える季節となりました。
四月から進学・就職と新たなスタートを切る卒業生達の心の中は、期待と不安で一杯の事だろうと思います。

編集後記

「大丈夫だ、心配するな、何とかなる」これは、一休さんが弟子達に残した言葉だそうです。未来への漠然とした不安や悩みはあるでしょうが、悠然とした気構えで新しいステージに臨んでほしいものです。

今回の二五三号は、今年度最後の学園通信になりますが、今までご協力頂いた皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(三澤 正義)



◆H24年度卒業生の進路別状況◆

平成25年2月8日現在

	就職希望者			進学希望者				家事その他	合計
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種	小計		
男子	18	14	32	27	1	21	49	3	84
女子	21	9	30	16	11	61	88	2	120
合計	39	23	62	43	12	82	137	5	204

◆就職関係（内定状況 公務員を除く）◆

	県内希望				県外希望				合計			
	学校幹旋	学校幹旋内定者	縁故	縁故内定者	学校幹旋	学校幹旋内定者	縁故	縁故内定者	学校幹旋	学校幹旋内定者	縁故	縁故内定者
男子	13	13	4	4	5	5	0	0	18	18	4	4
女子	20	20	1	1	8	8	1	1	28	28	2	2
合計	33	33	5	5	13	13	1	1	46	46	6	6
内定率%	100%				100%				100%			

※公務員は男子県内1・県外9（計10）採用内定10名（100%）

◆進学関係（合格状況）◆

	大学		短大		専修各種		合計	
	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数
男子	17	14	2	2	13	12	32	28
女子	18	17	11	11	49	48	78	76
合計	35	31	13	13	62	60	110	104
合格率%	89%		100%		97%		95%	